

精子はここで運動能力や受精能力を獲得します。

精巢上体炎とは

急に陰のうが痛くなる「急性陰のう症」のうち、今回は「精巢上体炎」と「精巢炎」のお話をします。

精巢上体は精巢でつくられた精子の通り道で、精子はここで運動能力や受精能力を獲得します。精巢上体炎は、外部から病原菌が尿道に入り、精管を逆行して精巢上体で生じる感染症です。病原菌としては大腸菌や淋菌、クラミジアなどがあります。

精子はその後に精管に送られ、10～14日かけて尿道に至ります。射精した精液が尿道から出てくるのはこのためです。

治療は抗生素の投与

精子はその後に精管に送られ、10～14日かけて尿道に至ります。射精した精液が尿道から出てくるのはこのためです。

診断は、触診で精巢上体が硬くなり痛みを伴うことで判明します。陰のうの皮膚まで真っ赤に腫れあがっているような場

泌尿器講座

急性陰のう症（下）



いしい腎泌尿器科クリニック院長
石井 達矢

●(いしいたつや) 1999年(平成11年)
山形大学医学部卒業、同大附属病院、市立病院済生館、公立置賜総合病院勤務などを経て2020年5月いしい腎泌尿器科クリニックを開業。医学博士。日本泌尿器科学会認定専門医・指導医。日本醫師会認定産業医。

高熱が出ることも

軽症なら陰のう内の軽い違和感だけですが、重症例になると精巢上体や精巢が硬く腫れあがり、陰のう皮膚が炎症で赤くなつて浮腫（むくみ）が起きることもあります。

また精管に沿って痛みの範囲が広がり鼠径部が痛むことがあるほか、炎症が強いと高熱が出ることもあります。

精巢炎とは

一方、精巢炎の大部分は思春期以降にかかったおたふくかぜの合併症で、発症後3～7日後に痛みを伴って精巢が腫れ、全身の発熱を伴います。ほ



〈泌尿器科・内科〉 いしい腎泌尿器科クリニック

☎023-616-3601 山形市桜田西4-17-49

●診療時間
午前/9時00分～12時30分
午後/14時30分～18時00分

●休診日
木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日



合は、超音波検査を行うと腫大した精巢上体と力量であります。ラードップラナーで炎症による著明な血流増加を認めます。適切な抗生素の投与となります。治療は病原体に対する適切な抗生素の投与となります。治療は病原体に対する治療法になります。梅毒や淋病が原因の場合と解熱鎮痛剤の内服など対症療法になります。それぞれに有効な抗生素の投与を行います。

希に男性不妊症の原因になることもあります。おたふくかぜの合併症の場合、治療は精巢の冷却と解熱鎮痛剤の内服など対症療法になります。梅毒や淋病が原因の場合、それぞれに有効な抗生素の投与を行います。

とんどが片側の精巢に起りますが、両側に発症することもあります。